

2023年度

## ニチイキッズ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、地球温暖化の中でできるだけ、戸外遊び【散歩、公園内遊具、園庭遊び】を中心とした集団生活の中で基本的な社会のルールやマナーを取り入れ、遊びから始まる様々なアクティビティを通して、学ぶ好奇心を育んだ。
子どもの発達援助	アート、音楽、英語など学習、遊びを通して感性を磨き、創造力と自己表現力を高めた。個々の発達に合わせ、子どもに寄り添い援助ができるよう職員が共通認識を持ち、子どもの思いを大切にされた柔軟な保育の実践に努めた。
保護者に対する支援	個々の家庭の状況に合わせ相談しやすいように配慮し、コミュニケーションを大切にされた。また家庭に園からの連絡事項を共有し見落としがないよう心がけた。園行事等は前年度のアンケート回答を参考にし、園内で話し合いをし、保護者の方に満足いただける内容に変更し行事の充実を図った。また運営委員会を開催し現状報告や意見交換を実施し、保育サービスの向上に努めた。
保育を支える組織的基盤	園全体で歌・手遊び・絵本を共有し、家庭でもなじみがある曲や綺麗な歌声で歌えるものを選曲し、兄弟姉妹でも楽しむことができるようにした。園内研修では毎月の題材を基に、遊びや生活のなかで「10の姿」を育むために乳児から幼児期までを具体的に捉え、達成感や自信につなげ、自己肯定感を高め「心情・意欲・態度」の育ちを重視した課題を話し合い研鑽に努めた。

総評
<p>新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ始めたと共に、日々の生活や行事体制を従来の近い状態に戻し、保護者アンケート結果をふまえた対策を取り入れながら保育運営に携わった。園研修とし、【10の姿】を育む保育を取り入れ事例を見ながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の研鑽に努め「どうしてこうなるんだろう」「どのようにしたらこうなるのだろう」と子どもたち自身が気づき考えられるような論理的思考を伸ばすためには①課題が年齢に応じて難しかった②どのように子どもたちに言葉かけをしたらいいのか戸惑う③未満児でも取り組むことができることを学んだ。このように様々なことを研鑽しあった結果、乳幼児期に愛着関係で温かく丁寧な関りを受けると、「うまいかないことがあっても次は大丈夫」など気持ちをコントロールでき、自信に繋げることができた。また保育者が励ましたりする関わりが「心情・意欲・態度」の育ちに繋がった。【10の姿】を意識することが、保育の質を向上させるPDCA（計画・実行・評価・改善）の活用につながった。保育者自身が「子どものなにを育てたいのか」という目標をしっかりともち、必要に応じて流れを修正していくことで子どもの「子どもの対話的学び」を豊かにし、「主体的な学び」や「深い学び」に繋がった。こうした保育を積み重ねつつ今後も研鑽に努める。</p>